

◆◆◆「地域コミュニティカルテ」とは？◆◆◆

「神戸市地域コミュニティ施策の基本指針」に基づき、市内のそれぞれの地域（概ね小学校区まで）が、人口減少社会を見据え、総合的・自律的な地域コミュニティの環境づくりに向けた「地域の将来像づくり」ができるよう、地域の課題や魅力を共有するための「地域コミュニティカルテ」を作成します。

神戸市では、「地域コミュニティカルテ」づくりを進めるため、「コミュニティ行政プロジェクトチーム」で検討を行っています。今回の野田北部地域での実験的な実施はその一環で、この結果をもとに、さらに議論を行い、各地域へ広めていきます。

カルテの中身と役割は？

大きく分けて3つの段階に分けられます！
第1段階から作業をして完成します！

どういう作業をするの？

段階ごとに作業の内容が変わります！

誰がつくるの？

住民・行政・専門家が協働で作業します！
地域に必要なデータは行政が提供します！

「地域コミュニティカルテ」

第3段階

《地域の課題や魅力を共有する》

第2段階までで行った作業をもとに、最後のまとめ（話し合い＝ワークショップ）をします。地域の課題や魅力に優先順位をつけ、それを住民・行政が共有し、将来像づくりへつなげます。

完成！

・話し合い（ワークショップ）

住民・行政・専門家

第2段階

《地域の特性をつかむ》

話し合い（ワークショップ）、まち歩き、アンケートなどで地域の様子を明らかにし、再確認します。
(例)・地域の様子、地域団体・活動の様子
・高齢者、子どもなどの居場所の情報
・要援護者情報、地域情報（防犯カメラなど）

ステップ！

・話し合い（ワークショップ）
・まち歩き
・住民アンケート
・追加で必要な情報の整理

住民・行政・専門家
*情報によっては、NPOなどとも連携します。

第1段階

《将来像づくりの議論をはじめ＝きっかけ》

人口統計、公共施設などの情報を概ね小学校区（旧小学校区）ごとに編集しなおし、分かりやすいかたちで地域へ提供。
(例)・国勢調査にもとづく統計データ
・防災情報、都市計画情報
・公共施設

ホッフ！

・行政から地域へホームページなどで分かりやすく提供

行政